

第5クール《課題講習》

実習成果に基づきワークショップを行い発表します。

1月18日(土)	1月19日(日)
	8:30-10:00 特別講演Ⅱ
10:00-11:30 特別講演Ⅰ	10:10-11:40 特別講演Ⅲ
11:30-12:20 休憩	11:40-12:30 休憩
12:20-13:50 ワークショップⅠ	12:30-14:00 特別講演Ⅳ
14:00-15:30 ワークショップⅡ	14:10-15:40 特別企画
15:40-17:10 ワークショップⅢ	15:50-16:20 閉講式

※授業の時間、順番及び講師については、変更になる場合があります。

＜実習科目＞**共通科目実習**

- ①地域医療連携実習
 - ②地域連携クリティカルパス実習
- (①及び②ともに必須とする。①もしくは②のいずれかは本年度に限りレポート提出で可とする)

医療系科目実習

- ①急性期医療実習(急性期病院)
 - ②回復期医療実習(回復期病院)
 - ③地域医療実習(診療所)
 - ④地域保健実習(保健所、市町村保健センターのうちいずれか)
- (①～④のうち、2実習を選択し、そのうち1実習は本年度に限りレポート提出で可とする)

福祉系科目実習

- ①介護保険施設サービス実習
(指定介護老人福祉施設、介護老人保健施設、指定介護療養型医療施設のうちいずれか)
- ②地域包括支援センター実習
- ③福祉行政実習
(市町村、福祉事務所、児童相談所等のうちいずれか)
- ④介護保険地域密着型サービス実習
(夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)、地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護のうちいずれかの在宅サービスを提供している施設)

(①～④のうち、2実習を選択し、そのうち1実習は本年度に限りレポート提出で可とする)

※実習について

- ・実習は受講者が希望し、学会が承認した施設(原則として自施設を除く)において履修します。
- ・共通科目実習は2実習、医療系科目実習及び福祉系科目実習は、夫々2実習を選択履修し、その後実習報告書を提出します。(但し、本年度に限り夫々の実習について1実習はレポート提出で可とする)

〈募集要項〉**○受講資格**

- ・医療福祉連携士を目指す方及び医療福祉連携分野に関心の高い方
- ・日本医療マネジメント学会会員であることを原則としますが、学会非会員でも受講できます。

講習(実習を含む)については、全ての受講が原則ですが、受講者の申請により実行委員会の審査を経れば、以下の免除ができます。

- ①医療系の国家資格を有するものは医療系科目
- ②福祉系の国家資格及びこれに準ずる資格(例：臨床心理士等)を有するものは福祉系科目
- ③大学院において、医療福祉連携に関する課題により修士又は博士の学位を取得し、且つ、テーマが地域医療福祉の連携に関するものであると実行委員会が認めたものは医療系科目又は福祉系科目あるいは両方

＜医療福祉連携士認定試験の受験を希望される方へ＞

- ・学会認定試験ですので、学会の会員であることが必要です。
- ・本講習の履修が必須です。
- ・その他医療福祉連携士認定試験に関する情報は本学会ホームページを参照下さい。

※認定試験の免除科目はありません

○参加費 100,000円(但し、学会非会員110,000円)

※参加費の有効期間は2年間です。

※実習、宿泊及び交通に掛かる費用は自己負担です。

○定員 60名(定員を満たし次第締め切らせていただきますので、早めにお申込み下さい。)

○受付期間 2024年6月3日(月)～2024年7月8日(月)

○問合せ先 日本医療マネジメント学会事務局